

No 1 4	提案名：公共施設上のリアルタイムオンライン共有による住民 QOL 向上 ～公園との新しい向き合い方の提案～
	提案団体名：宇都宮大学 建築環境研究室 チーム B
	所 属：宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 宇都宮大学大学院博士前期課程 地域創生科学科 社会デザイン科学専攻 建築学プログラム
	代表者：早川 大輝 指導教員：糸井川高穂
メンバー	浅野目翔、青木岳大

○ 提案の要旨

公園を利用する人には利用の質を高め、利用しない人にとって公園は非日常化しているため日常的な魅力を発信する。そのために、現状の公園利用と公園の情報の調査を行った。多くの人の公園利用を豊かにするために、公園のインフラ改善、公園情報の逆引きシステム、公園を利用する人の2次情報を集めるコンテンツを考案した。

1. 提案の背景・目的

1.1 背景

コロナウイルスの影響で屋外での活動が増えた。学校が休校になった子どもたちが3密を回避できる遊び場として、公園が賑わっている。また、子どもたちに限らず、大人も健康遊具の使用など公園の利用が増えている。このような理由から、近年、公園への注目度が上がった。

公園は作業したり、読書をしたり、目的もなく立ち寄ってみたり、多様な目的や時間の過ごし方を受け入れるポテンシャルがある。しかし、清掃や草刈りといった管理が行き届いていない状態にある。また、ボール遊びなど活動の制限をしている公園も見られる。これらは、公園のハード面、ソフト面の脆弱性や利用者のニーズを正しく反映できていないことが理由であると考えられる。

私たちは公園を取り巻くシステムの改良、補填を行うことでもっと自由に公園を利用できるのではないかと考える。

1.2 目的

公園を利用する人にとっては利用の質を高め利用の幅を広げる。公園を利用しない人、低頻度の利用者には、非日常化している公園の魅力を共有し、公園と関わる人を増やす。

2. 提案の目標・課題「スマート×風土 うつのみやのデザイン」との関連

2.1 公園のスマート化

公園内の設備をデジタルサイネージなどの設置でスマート化する。また、公園内の端末と個人のスマートフォンでリアルタイムの同期を行う。スマートフォンを持っていない人でも公園内の端末を利用することで子どもや高齢者など誰でも利用できるようにする。

2.2 公園の情報のスマート化

公園内の情報にアクセスし、公園に立ち寄らないでも事前に情報を手に入れることができる。

2.3 思い出・歴史の記録

日記、アンケート、目安箱、掲示板、つぶやき、画像、動画といった内容を公園ごとに蓄積させていくことで「都市公園」以外の「街区公園」などでも公園ごとの特色をより顕著に示すことができる。「公園」という土地の個性を作り、人々の文化や生活を重ね合わせることで「風土」と呼べる物になることを期待する。

3. 現状分析

3.1 WEB掲載情報の調査

(1) 宇都宮市のウェブサイトの情報調査

- ・宇都宮市ホームページ²⁾

特色のある主な都市公園

画像をクリックすると、各公園の詳細が表示されます。

八幡山公園



所在地：宇都宮市堀田5-2-70
駐車場：76台（うち身障者用駐車場6台）

宇都宮城址公園



所在地：宇都宮市本丸町、旭1丁目地内
駐車場：12台（うち身障者用駐車場3台）

八幡山公園（はちまんやまこうえん）

[ツイート](#) [シェア0](#)

ページID1005755 更新日 令和3年1月22日

[印刷](#) [大きな文字で印刷](#)

公園概要

宇都宮市の中心部に位置するこの公園には、市内を一望できる宇都宮タワー、大型複合遊具や交通公園（ゴーカート）のあるアドベンチャーU、タンチョウやアライグマのいる動物舎など、お子様から大人まで楽しめる施設があります。また、自然の丘陵を活かした園内はお花の名所としても知られ、約800本の桜と700株のツツジが植えられており、お花見のシーズンにもなると、毎年たくさんの来場者で賑わいます。

所在地	宇都宮市堀田5丁目1-1
施設	宇都宮タワー（展望塔）、アドベンチャーU（公園北側広場）、アドベンチャーブリッジ（150メートルの吊り橋）、交通公園（ゴーカート）、動物舎
休園日	公園は年中無休、宇都宮タワー・交通公園は月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日から1月3日）
駐車場	70台（東駐車場20台、西駐車場50台）
バス	バス停、「県庁前」下車徒歩15分
車	東北道宇都宮インターチェンジから約20分（宇都宮北道路経由）
問い合わせ	電話番号:028-624-0642

[八幡山公園ホームページ（外部リンク）](#)

図3-1 宇都宮市における公園情報

都市公園に関する情報が集中しており、街区公園の情報が記載されていない。また、公園内の遊具や施設の情報があまりないことがわかった。

- ・析ナビ³⁾

公園ごとにページが分かれており約200件の公園が掲載されている。特色のある公園や「すごい公園」特集記事ではテーマに沿った公園を紹介している。また、口コミサイトであることを活かして7万人を超えるレビュアーがレビューを投稿している。

(2) 公園に関してまとめているウェブサイトの調査

- ・公園探訪⁴⁾

神奈川県、千葉県を中心に公園の写真と情報をまとめた個人のホームページ。それぞれの公園にはタグ機能がついており、目当ての公園を探すのに役立つ。個人での活動なので公園を網羅できていない。また、地図と紐づいていないので場所をイメージしにくいと感じる。

- ・懸垂のできる公園リスト⁵⁾

懸垂をすることのできる公園とその器具のメーカーまで細かい情報が掲載されている。細かなニーズに応えているサイトだと言える。地図から探すことができるので公園を探しやすい。全国様々な地域の情報が掲載されているが地域によってその密度が異なるので場所によっては公園を見つけることができないと考えられる。

(3) まとめ

宇都宮の都市公園や規模の大きい公園の情報は細かに掲載されているので規模の小さい「街区公園」やもっと身近な公園に関する情報も収集できるようになると良いと考えられる。宇都宮市ではない公園に関するサイトでは個人が情報をまとめているのでこういった民俗的な内容とレビューに近い機能を合わせることで公園に関してのニーズを網羅できるのではないかと感じる。

3.2 街区公園での公園利用者の調査

宇都宮駅周辺にあるさざなみ公園と宇都宮大学陽東キャンパス付近にあるパイン公園の2箇所を対象とし、利用状況に関する実態調査を行った。図⁶⁾に各公園の配置を示す。



図 3-2 パイン公園の位置



図 3-3 そよかぜ公園の位置

【利用状況調査】

11月15日(月)10:00～15:00に利用人数・利用形態の実態調査を行った。

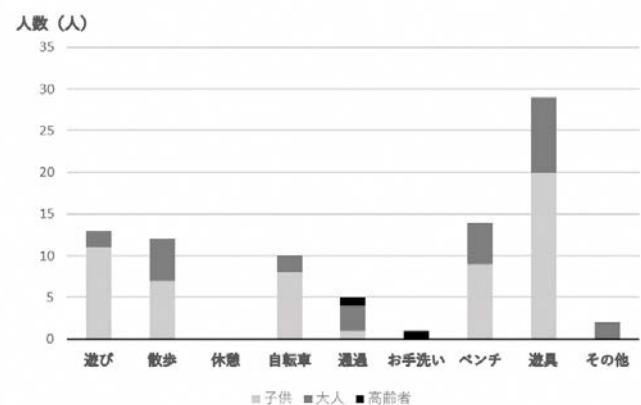
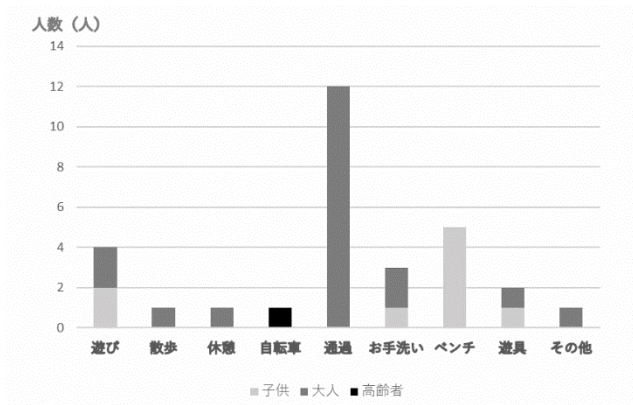


図 3-4 そよかぜ公園 (左) パイン公園 (右) の状況利用調査

【まとめ】

そよ風公園は通行人が多く、歩道やサイクリングロードのような特色がみられた。パイン公園は周囲の保育園、小学校の子どもや親子連れの利用者が多く見られた。街区公園でも位置するところや周囲の環境によって異なる特色がみられることがわかった。

3.3 アンケート調査

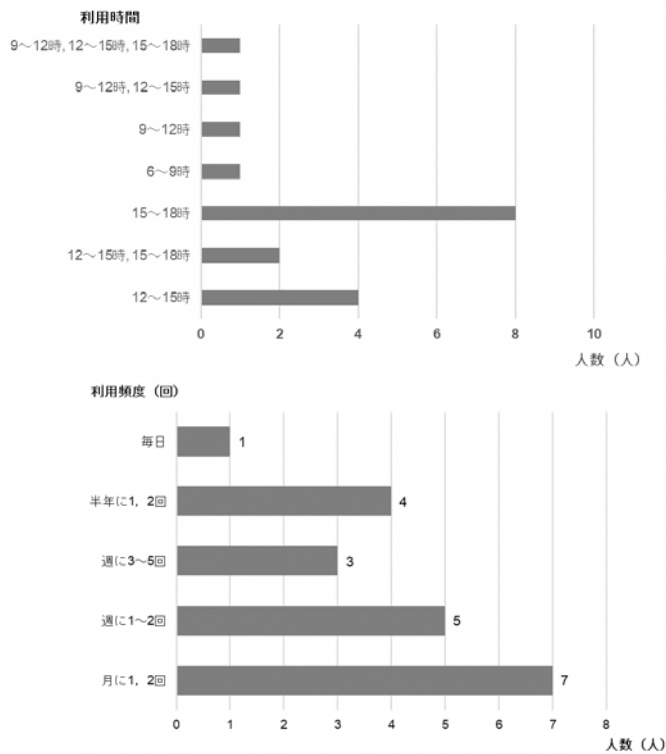
公園の利用状況や公園に対する意識を調査するために、宇都宮市駅東公園への現地調査及びGoogle フォームを活用しアンケート調査を行った。

【調査場所】

駅東公園周辺、グーグルフォーム

【調査期間・回答数】

2021年11月17日～11月25日、36回答



公園に関するアンケート調査 所要時間 (2～4 分)

宇都宮大学糸井川研究室では、宇都宮市が主催する「大学生等によるまちづくり提案」で宇都宮市内の公園に関する提案を考えております。そこで宇都宮市民の皆様の公園の利用について、調査したいと考えておりますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力をお願いします。

あなたについて教えてください

Q1.年齢【10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代・100歳以上】

Q2.性別【男・女】

Q3.普段、宇都宮市内の公園を利用されますか？【YES・NO】
(YESの方はQ4～Q6をお答えください)(NOの方はQ7へお進みください)

Q4.利用時間に当てはまるものに○をお付けください。
【1. 6-9時、2. 9-12時、3. 12-15時、4. 15-18時、5. 18-21時、6. 21-24時】

Q5.利用頻度に当てはまるものに○をお付けください。
【1. 毎日、2. 週3～5回、3. 週1～2回、4. 月1,2回、5. 半年に1,2回、6. その他()】

Q6.利用の目的に当てはまるものに○をお付けください。(複数回答可)
【1. 散歩 2. 遊び 3. イベント 4. 通行 5. その他()】

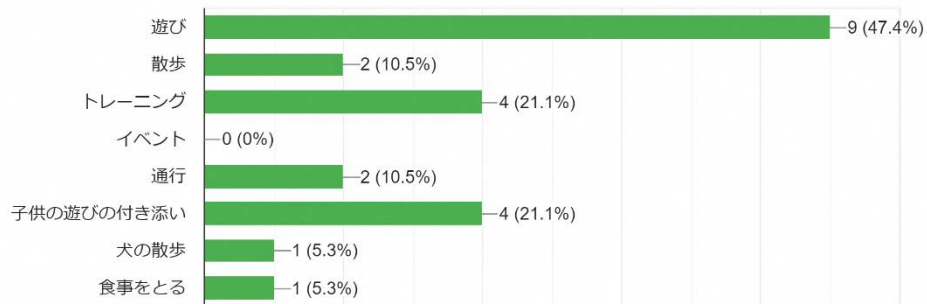
Q7.公園に行く前に欲しい情報について当てはまるものに○をお付けください。(複数回答可)
【遊具の種類・トイレの有無・大きさ・利用者数・植物・ベンチの有無・駐車場の有無・その他()】

Q8.普段行く公園を決める際の判断基準があれば教えてください。(自由記述)
【()】

Q9.推しの公園とその理由を教えてください。
【推しの公園()】
【理由()】

ご協力ありがとうございました(調査元:宇都宮大学 糸井川研究室)

Q6.利用の目的にあてはまるものをお答えください。(複数回答可)
19件の回答



Q7.公園に行く前に欲しい情報についてお答えください。(複数回答可)
36件の回答

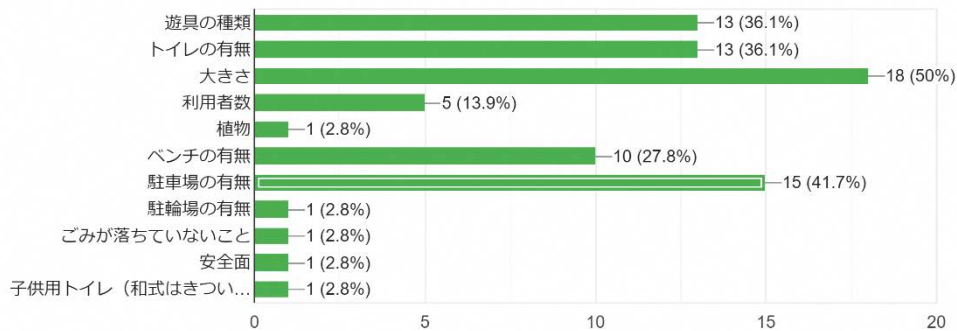
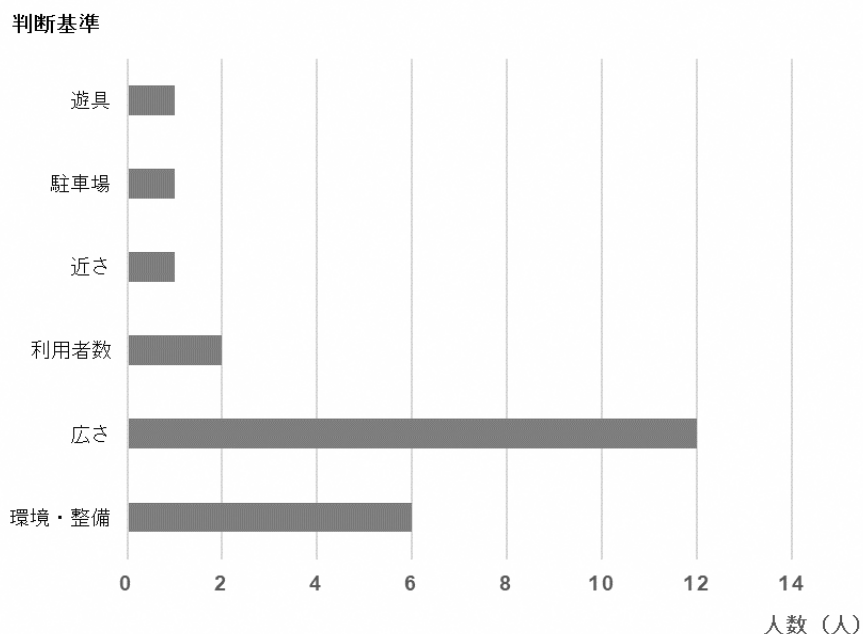


図 3-5 アンケートの回答①



Q9 推しの公園とその理由

1位 宇都宮駅東公園 4票 2位 平出工業団地公園 2票 その他 各1票

宇都宮駅東公園

遊具スペース、開けた場所が分かれている。

宇都宮駅東公園

遊具が充実している。

宇都宮駅東公園

ごみが落ちてなく、キレイ
見回りの人がある

平出工業団地公園

通学路の途中で利用しやすい。

さくら交通公園

自転車やゴーカートを使って交通ルールが学べる。

八幡山公園

桜がキレイ、屋台が出る。

図 3-6 アンケートの回答②

【まとめ】

Q7「公園に行く前に欲しい情報」、Q8「選ぶ際の判断基準」について、公園の規模や設備、遊具などの基本情報に加えて、公園の利用人数といったコロナ禍ならではの意見も見られた。

Q9「推しの公園」について、基本のインフラが整っている公園や利用者にとって身近な場所や、「さくら交通公園」のように目立った特徴のある意見が見られた。

4. 施策事業の提案

4.1 提案アプリケーションのコンテンツ

本提案のアプリケーションの提案にあたって5つのコンテンツについて紹介する。

(1) 公園情報逆引きシステム

公園内にある遊具、設備、施設、植物など詳細にキーワードとして抽出することによって、新しい公園の開拓を助ける。キーワードの中には歴史、スポーツ、文化など人々の生活に根付いているキーワードも取り入れることによって多角的に公園を探すことができる。

(2) 公園日記

公園を使っている人たちの2次情報を公園ごとに蓄積させていくコンテンツである。過去か

ら現在かけての蓄積を「風土」と考える。現在から未来にかけての公園利用の記録を蓄積させていくことで、より市民に近い形で「風土」を残すことができる。

公園日記に投稿できる内容は個人的な内容や、アンケート形式の投稿、市役所からの広告といった多岐にわたる投稿が混在することで公園を通して緩やかなコミュニティ形成ができると考えられる。

(3) 公園ランキング

公園日記、公園がアプリケーション内で閲覧された回数、推しの公園として登録した人数など多くの人が関わった公園をランキング形式で閲覧することができるコンテンツである。ランキングに公園が載ることにより人気の公園を調べ、自分のお気に入りの公園をみんなにオススメすることができる。

(4) 公園内の設備との連動

公園に設置されたデジタルサイネージ端末によって公園内の様子をリアルタイムで確認できるようにする。それによって空いている公園を選んで利用することができ、公園に行く前に知ることのできる情報を増やすことができる。

(5) その他既存システムとの連動

宇都宮市の政策として行われている「宮ココ」「宇都宮健康ポイント事業」と連動させることによって住民と宇都宮市役所の間でのやり取りを円滑に行えるようにし、ポイントを溜める仕組みを導入させることによって住人に投稿を促すことにつながる。

4.2 多くの人の公園利用を豊かにするイメージ

公園を普段から利用する人、年に数回しか利用しない人、全く利用しない人のそれぞれに対して公園の利用価値を高めたい。そのために4つのステップに分けて公園利用を豊かにしていこうと考える。

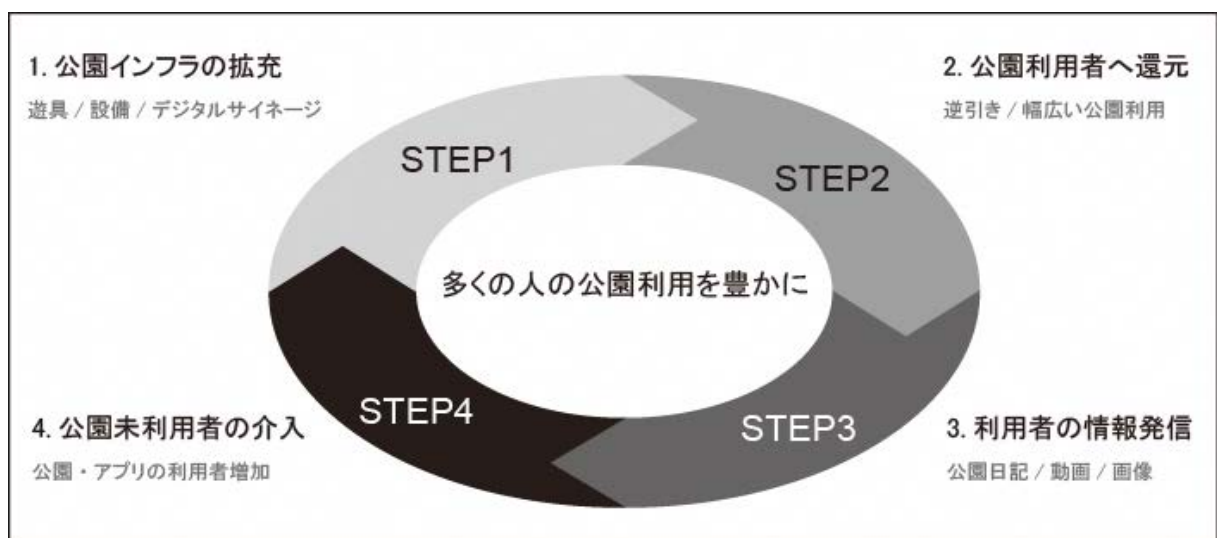


図4 多くの人の公園利用を豊かにするサイクル

STEP1. 公園のインフラの拡充

インフラの改善について、公園のハード面の整備と公園内の遊具や設備の情報をWEBに掲載をする。公園自体をスマート化するためにデジタルサイネージを公園内に随時導入する。そこでは、公園施設周辺の情報や本提案のアプリケーションへのアクセスを行えるようにする。また、Wi-Fiやコンセントの設置によって公園の利用の幅を広くする。

STEP2. 公園の定期利用者の利用を豊かにする

本アプリケーションのコンテンツを使って現在公園を頻繁に利用している人がさらに使いやすくなることを目標にする。公園利用の幅が広がることによって乱立している特色の少ない「街区公園」等も他の公園との差別化、特徴づけを行うことができる。

STEP3. 公園の利用者が2次情報を発信できるようにする

公園日記の機能を利用して公園利用者、未利用者に対して公園の具体的な利用がイメージでき

るような記録を蓄積していく。

STEP4. 2次情報を活用し公園の未利用者にも公園を利用してもらう

本提案アプリケーションを通して、公園の利用が非日常となっていた人たちにも公園を利用するイメージを持ち、低頻度で利用していた人も日常的に公園を利用してもらう。それによって、公園を通じた関係人口の増加が期待できると考えられる。

4.3 公園自体のインフラの改善

ステップ 1、ステップ 2 に該当する提案となっている。公園と公園情報をスマート化するにあたり必要な設備の設置、プラットフォームの作成を行う。

4.4 日記・アンケート形式での利用者の情報を集める

ステップ 3、ステップ 4 に該当する提案となっている。公園の利用人数と本アプリケーションと利用人数を増やしていくために「宇のコト：愉快ライター」⁷⁾の制度のように公園について発信する活動員を市民から集めることで最初の 2 次情報を集める。

【補注】

*1 前国土交通省公園緑地・景観課長、SOWING WORKS 代表 町田 誠氏

【参考文献】

- 1) 町田誠：緊急提言・「新型コロナ」で変わる公園の在り方，
<https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/032300072/052500015/>，2020.05.29.（閲覧日 2021.11.20）
- 2) 宇都宮市：八幡山公園，
<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/machi/1020735/1005755.html>，2021.01.22.（閲覧日 2021.11.23）
- 3) 栃ナビ：公園，
https://www.tochinavi.net/search_result/?type=spot&page=1&sort=3&word=&C3%5B%5D=140，2021.11.20.（閲覧日 2021.11.20）
- 4) 公園探訪：<https://www.koentanbo.com/>，2006（閲覧日 2021.11.20）
- 5) 懸垂のできる公園リスト：<https://kensui-to-watashi.com/>（閲覧日 2021.11.20）
- 6) Google：Google Map，<https://www.google.co.jp/maps/>，（閲覧日 2021.11.26）
- 7) 宇都宮市：愉快ライター大募集，宇都宮ブランド
<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/citypromotion/citybrand/1014213.html>，2018.07.26.（閲覧日 2021.11.20）
- 8) 宇都宮市：宇都宮大学佐藤ラボ，
https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/658/2018_no8.pdf，2018.12.20（閲覧日 2021.10.15）